

令和3年度 公益社団法人 全国大学保健管理協会中四国地方部会
保健・看護分科会運営会議（第1回）議事要旨

開催日時： 令和4年2月21日（月）10：00～10：45（Web会議）

出席者： 代表世話人校幹事：森福（山口大学）、代理書記：松原（鳥取大学）、委員：
小林（島根大学）、黒木（岡山大学）、大元（倉敷芸術科学大学）、杉原（広島大学）、奥本
（広島経済大学）、宮内（愛媛大学）野崎（香川大学）、大川（高知大学）、早瀬（徳島大
学）計11名

議題

1. 第52回中国四国大学保健管理研究集会保健・看護分科会勉強会について
 - ・ 時期当番校島根大学小林委員より口頭で説明があり、対面・Web両方で検討していたとのことだった。正式には3月の幹事会で決定することになるが、Web開催で準備中である（タイムスケジュール未定）
 - ・ 特別講演1、教育講演2、メンタルヘルス講演会はなし
2. 保健看護分科会調査について
 - ・ 前は徳島大学早瀬委員に新型コロナウイルス感染対策についての調査を実施していただいた
 - ・ テーマ、時期、実施するかどうかも含め、情報交換会アンケート結果もふまえて今後検討していく
3. その他（業務における情報交換）
各大学間の情報交換を行った
 - ・ 多数の大学で学内外のオミクロン株感染拡大が深刻である
 - ・ 濃厚接触者の同定や次々に発生する報告の対応など業務量が過重になり対応に苦慮する大学もある。学内の感染対策や情報集約の中心部門を担う大学がある一方で、感染対策に特化した専門チームがある大学は抗原検査やワクチンの職域接種などある程度限られた業務、大学によって業務量や心理的負担に差があるように見受けられた
 - ・ コロナ陽性者や濃厚接触者の健康観察や行動歴など聞き取りの方法、報告を上げるシステムなど。Web入力で申告する大学、保健管理スタッフが公用携帯で対応する大学もある
 - ・ コロナ下での健康診断、胸部X線撮影について。健診車にひとりずつ誘導する大学よりも2人以上誘導するという大学が複数あった

令和4年2月21日にWEBにて運営会議を開催いたしました。

当日は第52回中国四国大学保健管理研究集会保健・看護分科会勉強会についての検討内容の確認、令和4年度保健看護分科会調査について、

新型コロナウイルスへの対応を中とした大学間の情報共有を行いました。

なお、保健看護分科会調査は今年度はコロナ対応等で看護職業務が多忙であり見送ることとし、2月実施予定の運営会議で令和5年度の調査について検討予定です。

また、昨年度の研究集会終了後に分科会会員へ研究集会内容について、アンケート調査を実施し、島根大学小林委員にまとめていただき、会員間で共有しております。

以上ご報告いたします。